

## 理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所大



12月に入りましたが、例年の年末とは相違し、新型コロナウイルスの影響が続くこの状況に、何とも言えない不快感を覚えます。日常生活だけではなく、仕事のスタイルも変化せざるを得ない年でした。会議・委員会の縮小と中止、打ち合わせの制限。従来の方式を大きく切り替えるきっかけになったのは言うまでもありません。

折しも時は宴会シーズン。本来であれば、つきあいの多い年末年始は体調管理にも気をつけなければならない所ですが、宴会の予定もないこの年末年始においても、感染拡大防止の観点から、毎朝の体温チェックは欠かせません。最近ではついでに血圧まで測るようになりました。振り返ると、体調においてはすこぶる良好で、外食や飲み会のなくなったコロナ禍唯一のありがたい副産物となりました。

さて、令和3年4月に予定されている介護報酬改定の概要が見えて参りました。前回同様にプラス改定と予想されております。事業者側の期待するアップ率は望めないでしょうが、この状況化においてもご利用者と真摯に向き合うスタッフの、モチベーションアップにつながる改訂を期待したいところです。内容については、自立支援の取り組み強化、地域ケアシステムの推進、介護人材の確保等は従来どおりですが、ここに感染症や災害への対応力強化という項目

が加わり、新型コロナウイルス等への感染対策、度々発生する自然災害への対策が重要視される方向です。

人材の確保については、この場でも度々書いているとおり、医療介護業界のみならず国内のほぼ全ての業種において、ここ数年の最重要課題とも言えます。我々の業界では、「テクノロジーの活用」にスポットが当たり始めており、センサーによる見守りシステム、ICTを活用した利用者の能力等のデータ化、AIを活用したケアプラン作成等々、早急に整備しなければならない事項と認識しているところです。

現況において一番気がかりなのは、ご利用者の面会制限です。当芙蓉会では、一部オンライン面会を継続しておりますが、対面形式は当分難しいと思われれます。私自身も感染が拡大している現在は施設内のラウンドを自粛しておりますが、以前のように、ご利用者とご家族が当たり前に面会し、交流できる様子を拝見できる日の到来を念じてやみません。

## 「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

## 町田消防署から表彰されました

この度、「秋の消防予防運動」にあたり、法人の日頃の自衛消防体制確立への取り組みと、積極的な訓練の実施状況をご評価いただき、町田消防署から表彰されました。

法人では、通年にわたり火災や震災を想定し

た訓練と、全職員を対象とした防災の勉強会を、職員 1 人ひとりの防災意識を高める目的で実施しております。もしもの時に頼れる組織づくりに向けて、今後も取り組んでまいります。

